



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湘南ワイバーン本社ビル	階数	地上4F
建設地	横浜市区上飯田町字加藤畑286番1, 286番2	構造	S造
用途地域	無指定(市街化調整区域)	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年(想定値)
建物用途	事務所,工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年6月 竣工	評価の実施日	2017年10月28日
敷地面積	1,480㎡	作成者	橋本敏治
建築面積	847㎡	確認日	
延床面積	2,098㎡	確認者	

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★★★★

環境品質 G

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 73%

③上記+②以外の 73%

④上記+ 73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.6

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	建築物エネルギー消費の削減推進し、働く人が健康・快適な室内環境を目指し、震災時への備え取り込み、建築物の熱負荷を抑制し、敷地内には緑地を確保する。	その他
Q1 室内環境	居室空間は健康で快適な環境で働けるよう設計段階で配慮する。	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	建築物を運用する際に発生するエネルギー消費をできるだけ低減するよう配慮する。	LR3 敷地外環境
Q2 サービス性能	建築主に対するサービス性能として、建物内における利用者の活動や知的生産性に影響を及ぼす機能的側面と、建物自体がより長く良好な状態で使い続けられるために必要な機能的側面に配慮する。	
LR2 資源・マテリアル	建築物のライフサイクルにおける資源・マテリアル消費の低減、及び環境負荷をできるだけ削減に配慮する。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



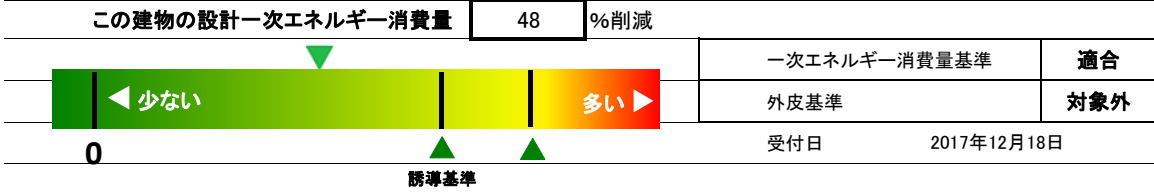
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 **湘南ワイパーサプライ本社ビル**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①建物外皮の熱負荷抑制: モデル建物法複数用途ツール(平成28年省エネ基準用)による

③設備システムの効率化: モデル建物法複数用途ツール(平成28年省エネ基準用)による

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【快適・働きやすさ】 3**

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

⑱生物環境: 外構緑化指数: 27%、建物緑化指数65

⑲まちなみ・景観: 植栽により、良好な景観を形成している。

⑳地域性への配慮: 建物高さ、壁面位置、外装、開口部、等の形状や色彩において、
周辺のまちなみや景観にバランスよく調和させている

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)
—	
エネルギーマネジメントシステム導入	
—	